

2017年9月10日 主日礼拝

プレイズ

奏 楽

ヤベツの祈り

賛 美 聖歌604番 「望みも消えゆくまでに」

(主を喜ぶことは) (み手の中で)

聖 書 ①詩篇 42篇6～11節(p784)

②コリント人への第二の手紙 6章1～10節(p283)

音 楽 聖歌隊&アンサンブル

証 詞 ①中里直子姉(ドルカス会)

メッセージ ①「本当の私を解放する・シリーズ2」 倉知契副牧師

②「見よ、今は恵みの時！」 大川従道牧師

賛 美 「明日はどんな日か」 (献金)

頌 栄 「主の祈り」 アーメン

祝 禱

聖餐式

「悲しんでいるようであるが、常に喜んでおり、
貧しいようであるが、多くの人を富ませ、
何も持たないようであるが、すべての物を持っている。」
(第二コリント六の十)

【町田ニュース】

- ・ 先週の「ほっとママの会」が祝されました(参加4名)。
- ・ 本日午後、**弟子学校**あり (次週予習—弟子の喜び4課、暗唱聖句 A7)。
- ・ 火曜日、**早天祈祷会**で大塚師が説教。お祈りください。
- ・ 今週も祈祷会を大切に(Y)。水曜夜7時半、佐々木伝道師、木曜10時半は石橋伝道師、金曜夜9時は原田補教師。
- ・ 土曜日は特別聖会のため、**午前10時半より祈り会**。祈りは力です。
- ・ 15日(金)～18日(月・祝)**「宗教改革500周年大会」**、中野ゼロホール。詳細はチラシで。来週の日曜午後3時からの聖会にご一緒しましょう。
- ・ 来週、敬老祝賀会。
- ・ 24日(日)**「オープン礼拝&ハンドベル練習」**。大塚師が生説教。
- ・ 毎日、通読表(聖務表)に従い、Q.T.をしましょう。



畑の中の宝物

「世界標準の子育て」(船津徹著・ダイヤモンド社)は、子育て中の方にお勧めの本です。アメリカ、中国などで英語教育に携わり4,000人を輩出してきた著者が、世界で行われている子育てから、これからの時代の子育ての基準を打ち出したものです。著者は、「自信」「考える力」「コミュニケーション力」の3つを育てることがグローバル化の時代を生き抜く条件だといいます。

お隣の韓国はいち早くグローバル化に巻き込まれた国。2000年代に入り、サムスン電子、LG電子、現代自動車など、財閥系企業がグローバル化の後押しを受けて、短期間で世界企業へと躍進。一方、このグローバル化に乗り遅れた若者たちは切り捨てられ、多くの若者が失業し不満がたまります。教育熱心な韓国人は子どもの教育のため家族でアメリカ移住をするようになりましたが、ハーバード大学、イェール大学などアメリカのトップ大学に通う韓国人学生のうち44%がドロップアウト(途中退学)してしまいました。今まで勉強で負けたことがなかった彼らは、初めて自分より優秀な人間と出会い挫折を経験。それを乗り越える強い心が育っていなかったからであると分析しています。そして、日本も今後20年、確実に急速なグローバル化の波に飲まれていくと書かれています。

この本を通して考えさせられたことは、「世界標準の子育て」には「世界標準の価値基準」が必要だということ。様々な価値観と情報が入り混じる多様化した社会で、時代・国を超えて通じる価値観が土台になければそれは難しい。そして聖書こそ「自信」と「考える力」と「コミュニケーション力」を育む世界標準の子育ての土台です。

「読書百篇意自ずから通ず」ということわざがあります。難しい文章でも、繰り返し読んで意味がわかっていくという内容ですが、この度文字通り聖書を100回読んだ兄弟(K.E.)が大和カルバリーにおられます。「これからは回数を目標とすることなく、ゆっくり味わいながら読もうと思う」と書きながら、年4回のペースで読むそうだから驚きもの。

良書は読めば読むほど味わい深くなるというが、聖書はその最たるものです。少しでもその恵みにあやかりたいと思います。

大塚信頼

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう。

Aコース: IIコリント2章～8章 Bコース: 箴言17章～31章